

富士市の家計簿をぐらんぐらください

# 潤々々活カあるまぢりんに534億円

平成元年 一般会計

私たちが納めた税金は、どのように使われているのでしょうか。市は、市の財政事情を市民の皆さんに知っていただくため、毎年六月と十二月の一回「富士市の財政」を公表しています。

今回は、平成元年度の予算と昭和六十三年年度の財政状況をお知らせします。

## 財源を効率的に配分

平成元年度は、国税及び地方税の改正、消費税の創設、国と地方公共団体の財源配分の見直しなど大幅な税財政改革が実施され、地方財政を取り巻く環境は予期した以上に厳しいものがあります。

こうした中で、新総合計画に掲げる諸施策を積極的に推進するため、事務事業の選択に取り組む、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、意欲的な予算編成を行いました。

一般会計における歳入の市税総額は三百四十七億五千九十万円で、前年度に比べて九億千五百八十九万九千円の増加となり

ました。

主な税目では、市民税・固定資産税を中心に堅調な推移が見込まれますが、電気税・ガス税及び木材引取税の廃止により、市税の対前年伸長率は二・七％にとどまりました。なお、間接税の廃止に伴って、新たに消費税と税として十五億円を計上しています。

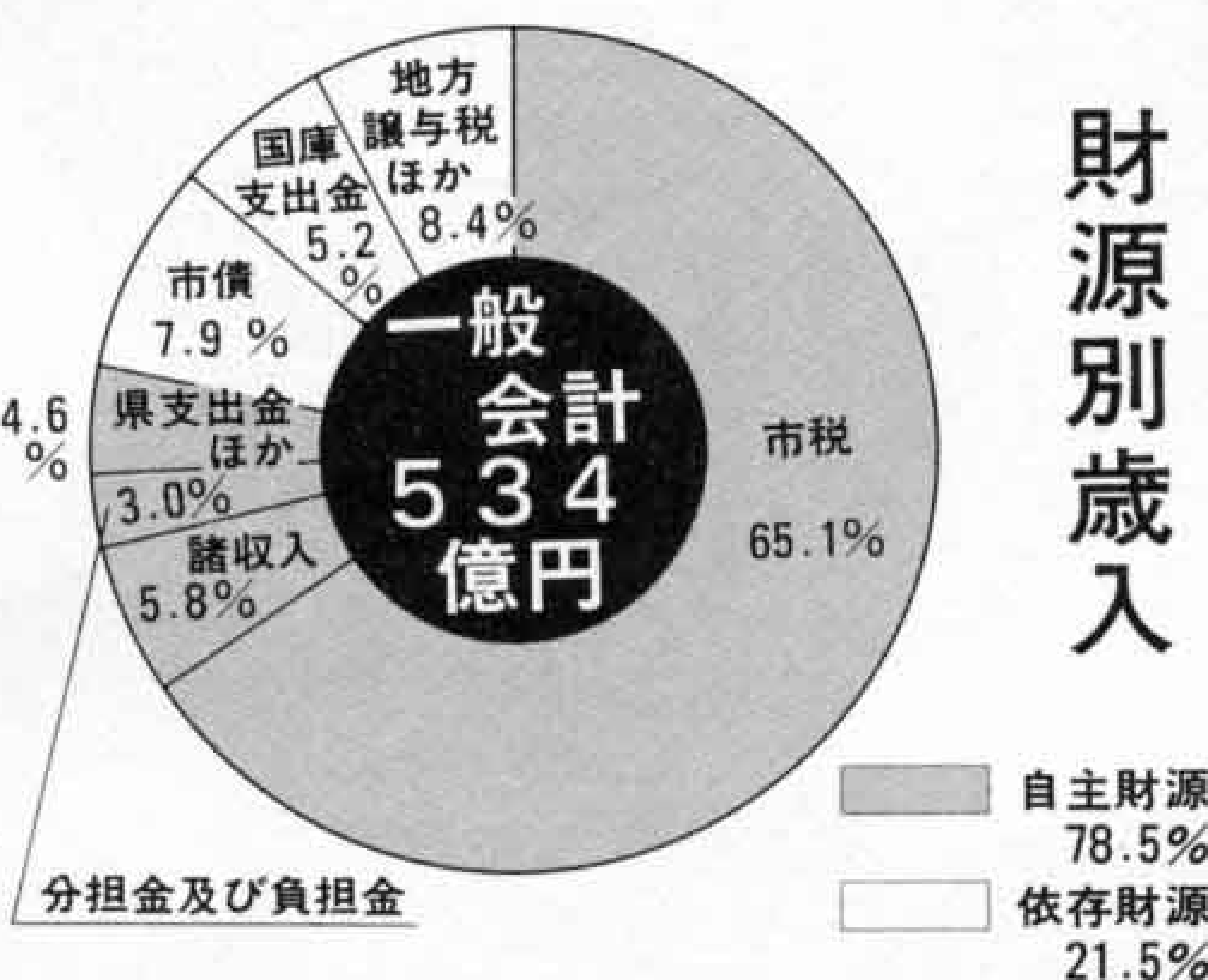
一方、歳出は短期大学誘致事業を初め、勤労者総合福祉センター、鷹岡地区社会福祉センター並びに図書館建設事業など二十一世紀プランに掲げる諸施策の実現に向けて積極的な予算化に努めました。

平成元年度の予算規模は、一般会計において五百三十四億円、企業会計を含む特別会計では、三百六十八億九千四百八十一万一千円となりました。

【一般会計とは市税収入を主な財源として、福祉・教育・道路・消防などに使われる会計です。】

## 平成元年度一般会計

歳入		
会計年度内(4・1～翌年3・31)に入ってくるお金		
科目別	金額	構成比
<b>総額</b>	<b>534億円</b>	<b>100%</b>
市税	347億5,090万円	65.1%
市債	42億742万3,000円	7.9%
諸収入	30億8,561万2,000円	5.8%
国庫支出金	28億122万1,000円	5.2%
地方譲与税	19億5,200万円	3.7%
分担金及び負担金	15億7,484万2,000円	3.0%
県支出金	14億6,057万5,000円	2.7%
使用料及び手数料	10億2,895万4,000円	1.9%
その他	25億3,847万3,000円	4.7%



▷二十一世紀に向かって、子供たちが健やかに育つまちづくりを進めます



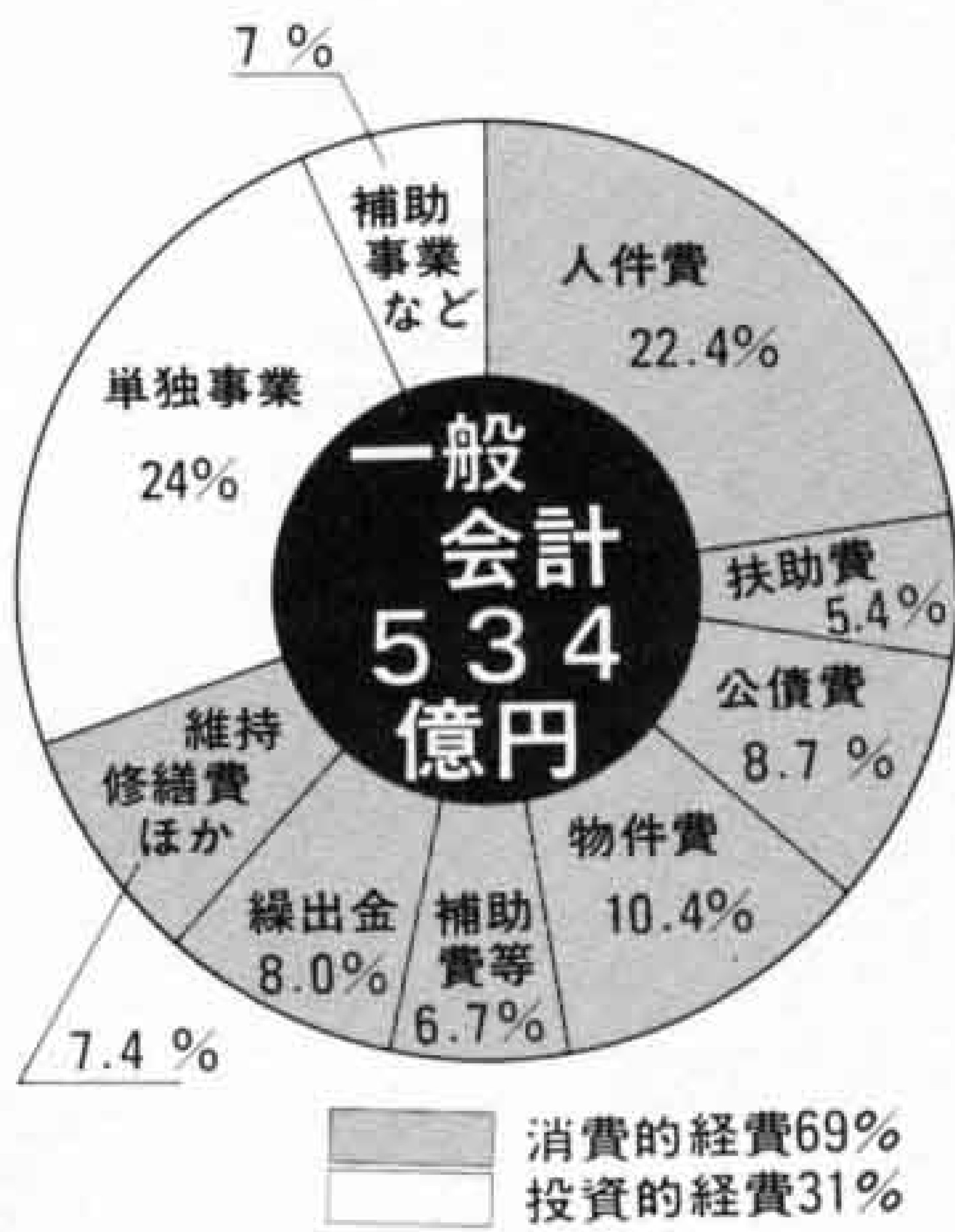
市民1人당りに使うお金		24万 830円	
市民1人당りの市税負担額		15万6,724円	
道路・河川の整備に 	教育に 	福祉などに 	ごみの処理や健康を守るために 
5万9,870円	4万6,250円	3万2,891円	2万4,365円
消防活動に 	産業の発展に 	公債費に 	庁舎管理などに 
8,245円	2万4,451円	2万1,018円	2万3,740円

(平成元年 3月31日現在の人口で算出しました)

### 市税の内容 合計 347億5,090万円

市民税 175億8,380万円 50.6%	固定資産税 135億3,670万円 39.0%	都市計画税 20億60万円5.8%	その他 16億2,980万円4.6%
-----------------------------	-------------------------------	----------------------	-----------------------

### 性質別歳出

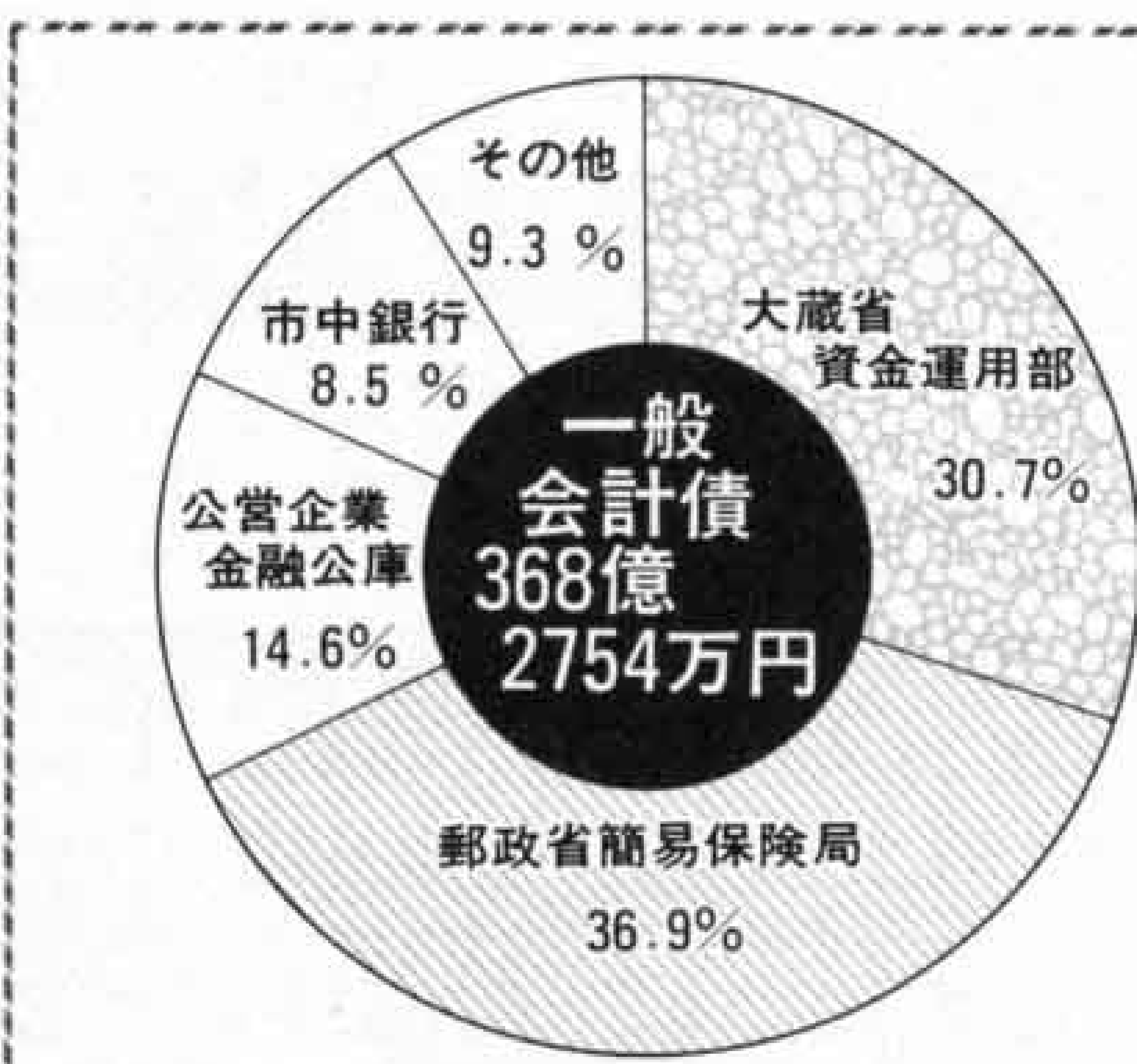


歳出 会計年度内(4・1～翌年3・31)に支出するお金			
科目別	金額	構成比	使い道
総額	534億円	100%	
土木費	132億7,520万8,000円	24.9%	道路や河川の整備に
教育費	102億5,513万4,000円	19.2%	学校整備や社会教育などに
民生費	72億9,290万5,000円	13.7%	社会福祉などに
衛生費	54億 258万8,000円	10.1%	ごみ処理や病気の予防に
総務費	47億 104万5,000円	8.8%	庁舎管理や人件費などに
公債費	46億6,026万円	8.7%	借りたお金を返すために
労働費	21億 844万8,000円	4.0%	働く人たちのために
消防費	18億2,822万3,000円	3.4%	消防、水防、防災のために
農林水産業費	17億5,028万2,000円	3.3%	農林業や水産業のために
商工費	15億6,294万4,000円	2.9%	商業や工業発展のために
その他	5億6,296万3,000円	1.0%	議会費、災害復旧費などに

### 市有財産の状況

	有価証券 1,375万円
	土地 4,927万 6,140平方メートル
	建物 56万2,294 平方メートル
	立木 27万8,205 立方メートル
	車両 282台

基金の現在高 (平成元年 3月31日現在) 65億293万3,728円



### 市債の状況

市の借金を市債といいますが、市税や補助金だけでは賸えない事業を行うために、国や銀行からお金を借ります。平成元年3月三十一日現在の市債は次のとおりです。

一般会計債 三百六十八億  
特別会計債 二百二十五億  
六千八百五十二万一千円

# 昭和63年度一般会計

(上段：予算額 下段：執行額)

平成元年3月31日現在。出納整理期間が5月31日までとなっているため、歳入・歳出とも未整理のものがああります。

項目	10	20	30	40	50	60	70	80	340	350	億円
市 税	353億5,720万円 346億7,035万円										
市 債	48億9,963万円 10億 808万円										
国 庫 金 支 出 金	32億9,468万円 22億 960万円										
諸 収 入	31億3,565万円 14億2,566万円										
繰 越 金	18億4,032万円 18億4,032万円										
分担金及び負担金	16億8,708万円 16億7,443万円										
県支出金	14億4,854万円 7億6,182万円										
その他	41億3,390万円 42億2,812万円										

歳 入	
予算総額	557億9,700万円
収入済総額	478億1,838万円

歳 出		項目
予算総額	557億9,700万円	その他
支出済額	461億4,637万円	消防費
		公債費
		総務費
		衛生費
		民生費
		教育費
		土木費

昭和六十三年度予算の執行状況  
順調に推移しています

## 企業会計

企業会計は、民間企業と同様に独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

### ◆病院事業

収入合計 79億1,593万円  
 医業収益 69億4,482万円  
 医業外収益 9億7,111万円  
 支出合計 77億1,591万円  
 医業費用 70億7,079万円  
 医業外費用 6億4,512万円  
 純利益 2億 2万円



中央病院

### ◆水道事業

収入合計 25億7,953万円  
 営業収益 23億3,195万円  
 営業外収益 2億4,758万円  
 支出合計 21億1,794万円  
 営業費用 16億9,505万円  
 営業外費用 4億2,289万円  
 純利益 4億6,159万円



## 特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、一般会計とは別に経理する会計です。(財産管理特別会計は省略しました)

国民健康保険会計		下水道会計	
予算額	74億3,800万円	予算額	67億7,370万円
支出済額	63億1,534万円	支出済額	51億5,822万円
依田原新田区画整理会計		富士中部区画整理会計	
予算額	6,629万円	予算額	15億8,770万円
支出済額	6,540万円	支出済額	13億2,220万円
地方卸売市場会計		駐車場会計	
予算額	3億5,200万円	予算額	5,410万円
支出済額	3億4,374万円	支出済額	5,365万円
公共用地先行取得会計		老人保健医療会計	
予算額	1億 530万円	予算額	59億9,200万円
支出済額	1億 530万円	支出済額	53億5,237万円